岩手日報

2019年（令和元年）
10月19日
土曜日

発行所
株式会社 岩手日報社
盛岡市内丸3番7号
郵便番号　020-8622
©岩手日報社2019

■紙面へのご意見・ご質問、情報提供は…編集、NIE・読者部へ
（平日9～17時）
▶電　話 019（654）1208
▶ファクス 019（653）8206
✉dokusya@iwate-np.co.jp

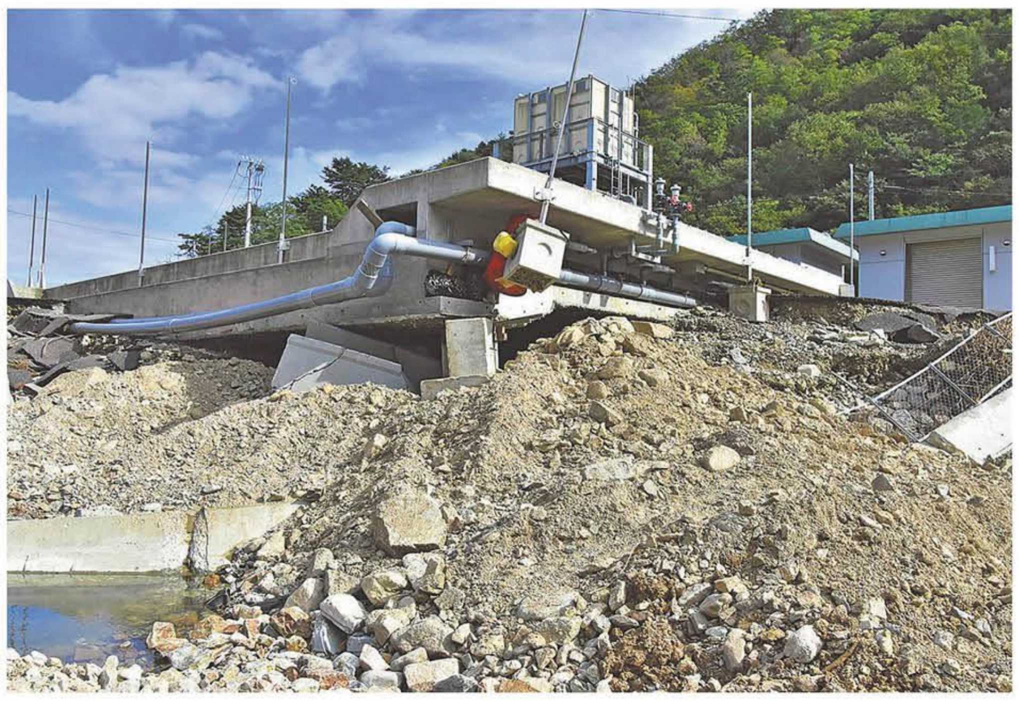
■岩手日報ホームページ
https://www.iwate-np.co.jp/

# 本県漁業の被害深刻

## サケ漁 全域中断

## 本格復興へ影響懸念

### 台風19号 上陸1週間



重茂川から大量の土砂が流れ込み、土台部分がえぐられ給水管もむき出しとなった重茂漁協のサケふ化場＝18日、宮古市重茂

大型の台風19号の上陸から19日で1週間、県内の深刻な漁業被害が明らかになってきた。これから秋サケ漁が本格化する中、宮古など4市町村6カ所のふ化場が被災したほか、久慈など4市町村16カ所の定置網が破損し、沿岸全域で漁がストップしている。18日時点での被害額は計2億133万円だが、全容を把握できておらず、今後さらに膨らむ見通しだ。サケの種卵確保に加え、地域経済全体への影響も懸念され、東日本大震災からの本格復興に向かう浜に、大きな打撃となる可能性も出始めている。

【関連記事2、4、19、20、23面】

県の同日午後1時現在のまとめによると、漁業関連被害はこのほか、大船渡や宮古など7市町のサケ採捕場13カ所で漁具が流失。大船渡など4市村で漁具倉庫や作業小屋などの水産施設34カ所が破損・倒壊した。5市町で漁船55隻が破損・転覆。宮古などでは養殖棚19台のロープが切れ、カキやホタテガイが落下した。

宮古市重茂の重茂漁協（山崎義広組合長）は、重茂川から流れ込んだ大量の土砂で一部のサケふ化施設（250万匹分）の土台がえぐられ、むき出しになるなど使用不能となった。土台を再度固定し直す必要があるため、修復には時間がかかるとみられる。

遡上（そじょう）してくる採卵用のサケを採捕する漁網のくいや鉄枠も流失。同漁協は毎年春に稚魚1700万匹を放流しているが、現時点で約35万粒しか確保できていない。来春は県全体で震災前水準に迫る4億351万匹を放流する計画で、本県基幹魚種の増殖サイクルが大きく乱れかねない。

山崎組合長は「今季は秋サケの出足が特に悪く、今後の巻き返しを図っていた中で大きすぎる痛手だ。住民生活への被害も大きく二重の苦しみだが、なんとかしてサケ採捕施設を早期復旧させたい」と話す。

今季の本県の秋サケ漁獲量は、被災前の10日時点で193㌧（前年同期比28・5％）とただでさえ悪い。このままでは近年の記録的不漁をさらに下回り、定置網漁に頼る漁協経営や、水産加工業などの関連産業に影響が出る可能性もある。

養殖施設の被害も大きく、大槌町では来年出荷予定だったカキとホタテガイの養殖棚計16台が被災。漁業黒沢義昭さん(57)は「3年前の台風10号の時より被害は大きい。資材にも金がかかり、人手も足りていないが、二次被害を防ぐために復旧を急がなければ」と焦りをにじませる。

県水産振興課の阿部孝弘振興担当課長は「サケ漁のピークを控える中で大きな被害となり深刻な事態だ。早期復旧に向けて全容把握に努め、併せて支援策を検討したい」と語る。

---

## 死者79人に

### 60歳以上多く

東日本に大規模な洪水や土砂災害を引き起こした台風19号の影響で18日、新たに2人の遺体が福島県で見つかったことが分かり、死者は12都県で79人となった。共同通信の集計では、年代が判明した死者66人のうち7割超の49人が60歳以上だった。行方不明者は10人。依然9万5千戸以上で断水、3900人以上が避難を続けており、生活再建の道のりは遠い。台風上陸から1週間となる19日は被災地で大雨が予想され、各自治体は警戒を呼び掛けた。

共同通信の18日までの集計によると、死者は12都県で79人。男女別は男性53人、女性23人、性別不明3人。船の沈没で死亡した7人と年代が不明の6人を除いた66人に関し、年齢や年代が各災害対策本部の発表や取材で分かった。60代と70代がいずれも16人で、80代11人、90代4人、100歳以上が2人だった。

死者79人の半数超の49人は、浸水や洪水といった水害で死亡したとみられる。

---

## 県内きょう大雨警戒

### 沿岸部、土砂災害の恐れ

19日の県内は前線や低気圧の影響で広い範囲で大雨となる恐れがある。台風19号の記録的豪雨で被害を受けた沿岸などで、通常より少ない雨量でも土砂災害が発生する恐れがあり、18日午後11時現在、宮古市と山田町が全域に避難勧告を発令。事前の備えや一層の警戒が求められる。

【関連記事22面】

盛岡地方気象台によると、大雨のピークは19日朝から昼すぎで、1時間30㍉の激しい雨が降る見込み。同日午後6時までに予想される24時間雨量は多い所で内陸と沿岸南部が100㍉、沿岸北部が80㍉。県内全域で大雨警報が発表される可能性がある。

地盤の緩みがある被災地では災害発生の危険が高まっており、自治体は早めの対策を呼び掛ける。宮古市の避難勧告の対象は2万3711世帯、5万1993人、山田町は6581世帯、1万5354人で、避難所はそれぞれ51カ所、7カ所に設置した。

同気象台は18日、大雨に関する県気象情報を発表。大雨のピークが過ぎた後も、時間差で河川が増水する場合があり、低い土地の浸水や土砂崩れに注意を呼び掛けている。

---

# 自衛隊 独自派遣へ

## ホルムズ海峡外

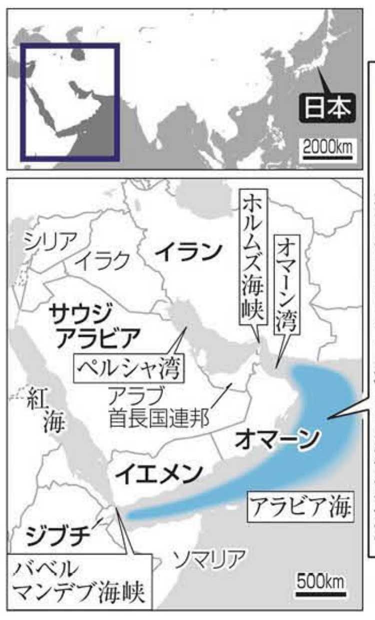
## 政府、年内にも決定

安倍晋三首相は18日、国家安全保障会議（NSC）会合を首相官邸で開き、中東情勢の悪化を踏まえて自衛隊の派遣を本格的に検討するよう関係閣僚に指示した。イラン沖のホルムズ海峡の安全確保を目指す米国主導の有志連合構想には参加せず、独自に派遣する方針だ。ホルムズ海峡を避け、アラビア半島南部のオマーンやイエメン沖に艦船や哨戒機を出して情報収集に当たる案を軸に年内にも決定する。菅義偉官房長官は派遣根拠を防衛省設置法の「調査・研究」と説明した。

【解説、関連記事3面】

首相は現地情勢を踏まえて最終判断する。実力部隊派遣に踏み切れば、外交を中心とした対処方針の転換となる。歯止めなき自衛隊海外活動につながると懸念が出るのは必至だ。

菅氏は記者会見で、中東の緊張緩和と日本関連船舶の安全確保のために日本独自の取り組みを行うと表明。基本方針として①外交努力の継続②日本船の安全対策の徹底③自衛隊装備活用の具体的検討―を列挙した。



自衛隊による中東での日本の船舶防護に関しては「ただちに実施を要する状況にはない」と述べ、自衛隊派遣の目的は「情報収集体制の強化」と位置付けた。米国との連携も強調。新たな艦船の派遣や既存の海賊対処部隊を活用する可能性を指摘した。

派遣対象の海域案として、オマーン湾、アラビア海北部、バベルマンデブ海峡東側の公海を挙げた。派遣時期は「これから検討する」と述べるにとどめたが、政府筋は年内にも派遣を決定するとの見通しを示した。

河野太郎防衛相は防衛省で記者団に、現時点で派遣地域にホルムズ海峡を含んでいないと明言した。トランプ米政権と、これに対立するイラン双方に配慮し、両国と関係が近い日本政府の立場を活用して対立緩和に貢献する狙いがあるとみられる。

有志連合構想は7月に米軍高官が明らかにした。日本政府は態度を保留していた。英国、オーストラリア、バーレーン、サウジアラビア、アラブ首長国連邦（UAE）は参加を表明している。

---

## 一歩一歩 ともに

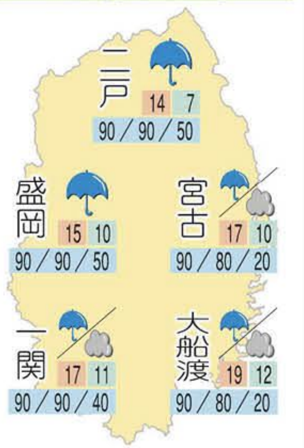
### 17 農業甲子園　ダブル出場

今日の紙面

2 北陸新幹線25日全線再開へ
3 北朝鮮漁船の衝突映像公開
5 日米貿易協定　農業に打撃
6 韓国首相「懸案解決望む」
13 W杯南ア戦 リーチら先発
21 ハンセン病補償額受け入れ
22 被災地警戒　事前対策急ぐ
23 災害ごみの処理に苦慮
9声　10ラジオ欄　11文化、運勢　12 13スポーツ
16 17県南　18盛岡・県北　19沿岸　20慶弔

お問い合わせ先
ご購読申し込み、配達のお問い合わせは…
0120・240840（ニッポウ　オハヨー）
■出版物、掲載写真のご注文、著作権関係… ▶コンテンツ事業部 019（601）4646
■プレイガイド、後援… ▶事業部 019（653）4121
■広告のお申し込み、お問い合わせ… ▶広告部 019（653）4118
■その他のお問い合わせ… ▶ 019（653）4111
（※ご購読関係は24時間対応。他は平日9～17時）

### 19日の天気



降水確率は午前／午後／夜（％）。
天気マークは☂／☀のち、☀☂一時・時々。
予想気温は最高、最低（℃）。

### 週間天気

| | 盛岡 | 宮古 | 大船渡 |
|---|---|---|---|
| 20(日) | ☀☁ 20% 21 9 | ☀☁ 10% 20 10 | ☀☁ 10% 20 10 |
| 21(月) | ☀☁ 10% 20 7 | ☀☁ 10% 20 10 | ☀☁ 10% 20 10 |
| 22(火) | ☁☀ 20% 20 12 | ☁☀ 20% 19 12 | ☁☀ 20% 20 12 |
| 23(水) | ☁☀ 30% 20 13 | ☁☀ 30% 17 12 | ☁☀ 30% 18 12 |
| 24(木) | ☁☀ 30% 18 12 | ☁☀ 30% 17 13 | ☁☀ 30% 18 13 |
| 25(金) | ☁ 40% 18 12 | ☁ 40% 18 12 | ☁ 40% 18 12 |

天気マークの右は降水確率。

### 全国の天気

| | 札幌 | 八戸 | 秋田 | 仙台 | 東京 | 名古屋 | 大阪 | 那覇 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| きょう | ☁／☂ | ☂☁ | ☂ | ☂／☁ | ☂／☁ | ☁☂ | ☁☂ | ☁／☂ |
| あす | ☀☂ | ☀☁ | ☁／☀ | ☀☁ | ☁☀ | ☀☁ | ☀ | ☁☂ |
| あさって | ☀☁ | ☀☁ | ☀☁ | ☀☁ | ☁☀ | ☁ | ☁☀ | ☁☂ |

---

## 風土計

2019・10・19

1972年札幌冬季五輪のテーマソングとなった「虹と雪のバラード」で、「町ができる 美しい町が～」と歌われた札幌。歌い継がれるその曲に、北の都のイメージを重ねる人は多いだろう▼「雪の炎に ゆらめいて」のフレーズもある。雪の炎とはどんなものだろう。想像すると、何か心地よさそうだ。さて、炎は炎でも炎暑となると話は別。炎暑下でのレースを避けるために、札幌に思わぬ話が舞い込んだ▼来夏の東京五輪でマラソンと競歩の会場を変更する案が急浮上し、確実な情勢に。ドーハでの世界陸上のマラソンや競歩が真夜中のレースであっても棄権者が続出し、「地獄だ」の声が出たことを踏まえた判断だ。「寝耳に水」の関係者の間には不協和音が響く▼米国テレビ事情を背景にしての7～8月開催が問題の根源にあろう。ちなみに前回64年の東京五輪マラソンは今頃の10月21日、午後1時号砲。本紙は「（開始前）気温一九・六度、湿度七四％とまずまずのコンディション」と伝えている▼「復興五輪」をうたうのであれば東北でもよさそうだが…。でも札幌に決まるのなら、美しい町での感動的な物語を期待しよう。競歩では、本県出身の高橋英輝選手が出場し、テープを切るシーンを見たい▼ただ、北の都も夏は結構暑い。暑さ対策が鍵を握ることに変わりはなさそうだ。

---

## 歴史トピック

10月19日（土）

▽2003年　史上2頭目の牝馬3冠

中央競馬の3歳牝馬、スティルインラブ（幸英明騎乗）がGⅠレースの秋華賞に勝ち、春の桜花賞、オークスに続く勝利で牝馬3冠を達成した。賞金は8900万円。牝馬の三冠馬は1986年のメジロラモーヌ以来17年ぶり2頭目となった。

この紙面の著作権は岩手日報社が保持しています。無断転載、複製及び配布は禁止します。